

製品名: cPLA2-ε ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09317**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PLA2G4E
別名	PLA2G4E; Cytosolic phospholipase A2 epsilon; cPLA2-epsilon; Phospholipase A2 group IVE
遺伝子 ID	123745.0
SwissProt ID	Q3MJ16
免疫原	抗血清はヒト PLA2G4E 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

背景

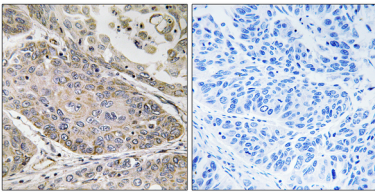
触媒活性: ホスファチジルコリン + H₂O = 1-アシルグリセロホスホコリン + カルボン酸塩。ドメイン: N 末端 C2 ドメインは脂質膜に会合し、細胞質 Ca²⁺の上昇に応じて活性部位を基質に提示することで酵素の調節を媒介する。酵素調節: 細胞質 Ca²⁺に

よって刺激される。機能: カルシウム依存性ホスホリパーゼ A2 は、グリセロリン脂質の sn-2 位を選択的に加水分解する。類似性: 1つの C2 ドメインを含む。類似性: 1つの PLA2c ドメインを含む。細胞内局在: カルシウム依存的にリソソーム膜に移行する。触媒活性: ホスファチジルコリン + H(2)O = 1-アシルグリセロホスホコリン + カルボン酸塩。ドメイン: N 末端 C2 ドメインは脂質膜に会合し、細胞質 Ca(2+)の上昇に応じて活性部位を基質に提示することで、その調節を媒介する。酵素調節:細胞質 Ca(2+)によって刺激される。機能:カルシウム依存性ホスホリパーゼ A2 は、グリセロリン脂質の sn-2 位を選択的に加水分解する。類似性:1つの C2 ドメインを含む。類似性:1つの PLA2c ドメインを含む。細胞内局在:カルシウム依存的にリソソーム膜に移行する。、

研究分野

グリセロリン脂質代謝、エーテル脂質代謝、アラキドン酸代謝、リノール酸代謝、 α -リノレン酸代謝、MAPK_ERK_Growth、MAPK_G_Protein、血管平滑筋収縮、VEGF、Fc ϵ RI、Fc γ R を介した貪食作用、長期抑制、GnRH;

画像データ



PLA2G4E 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。